



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### サウジアラビア：外国人労働者雇用増加と女性の労働問題（1月30日付アラブニュース他）

1. ゴサイビ労働相は、2007年熟練労働者の雇用のための査証発給件数が34.5%増である旨述べた。同労働相は、この増加をサウジ全体の開発と産業プロジェクトの成長にあるとしている。
2. 昨年は民間部門での家庭の使用人を含め、170万件の雇用査証の発給があった（2006年は126万件）。この大幅な増加は、各地の新たな産業、教育及び不動産プロジェクトを実施し、ラービク、メディナ、ジザーンの経済都市の成長とそれに伴う外国人熟練工の増加による。
3. 昨年では48.42%がアシスタントエンジニア、20.57%がサービス専門職であった。5503件は建設労働者への査証で396件は土木技師であった。国籍別では、バングラデシュ（23.6%）、インド（18.61%）、エジプト（14.46%）、フィリピン（11.96%）、パキスタンが11.01%である。（以上30日付アラブニュース）
4. ゴサイビ労働相は、ジッダで開催された人権協会メンバーとの会合において、女性の労働に対し保護者の承認を求めている条件について同相は、民間部門で女性の労働はゆっくりだが確実に進展していると述べた。だが、女性の仕事は男性と一緒にしないという原則は、変わらないということに対して、「保護者（父、兄弟等）が、彼等の娘が男性グループの中で仕事をするのを望まない社会にある。ただ14万8000人の女性が求職していることについては、多くの人が仕事に就けるような環境を創り出すのが大臣として私の仕事である」と語った。
5. 国家は200万人の公務員を有し、年間2500億リアル（約5000億円）の給与を払い、一般予算の80%を占める。一方で失業率は8%と高く、そのうち80%が高卒かそれ以下の教育しか受けておらず、労働市場は、それらの未熟練労働力を必要としていない。一方で外国人労働者に高い給与を払っていて、特にメイドや使用人は、より高額な給与を約束され、本来の雇用主から逃げるように誘われるなど、「逃亡するメイド」問題が深刻になっている。（以上Ai-Eqtisadiyah Daily）

#### <参考>

サウジアラビアは人口2400万人、うち外国人労働者は614万人とされる（外務省）。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799